

## 平成29年3月期 決算の概要

当期の日本市場につきましては、公共工事は減少傾向にあるものの、当期中に成立した第2次補正予算に係る政府建設投資の執行や、東京オリンピック関連工事などの民間工事に支えられ堅調に推移し、更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は当社推定で前期比1%の増加となりました。

一方、海外における先進国市場につきましては、北米は原油安の影響による投資減少など、西欧は英国EU離脱問題などによる景気停滞、また新興国市場につきましては、各種資源安や中国の経済成長鈍化に伴う世界経済への影響によって、海外需要は大きく減少しました。

こうした市場環境に加えて、急激な為替変動があったものの、当社は新製品の市場投入を進めるとともに、原価低減や固定費抑制など各種体質強化策に取り組んだ結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

### 【平成29年3月期の経営成績】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	41,829	Δ5.2	5,824	9.5	5,897	8.7	4,172	7.5
前期	44,125	3.0	5,317	Δ8.3	5,424	Δ7.1	3,882	32.5

国内事業については、新車販売台数はほぼ横這いでありましたが、新製品の発売などによって、高単価の販売数量が増加し、またサービス事業の拡充にも努めた結果、当期の国内売上高は32,978百万円（前期比17%増）となりました。

海外事業については、米州ではLink-Belt Construction Equipment Company（現 Link-Belt Cranes）、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中東地域では、Hitachi Construction Machinery Middle East Corp. FZEなど各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援、サービス支援や新興国市場の開拓などに努めましたが、需要の減少により当期の海外売上高は8,851百万円（前期比44%減）となりました。

次期の見通しにつきましては、底堅い動きでありました日本市場の減少や北米市場の回復遅れによって先進国市場の需要は減少、新興国市場につきましても需要は横這いが見込まれ、世界需要は対前年比で減少すると予測しております。

上記の通り、市場環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社は以下の重点方針を推進するとともに、当期末の当社の親会社変更を機に、住友重機械工業グループとの連携を深化し、引き続き競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 2) 徹底した原価低減の推進
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)

日立住友重機械建機クレーン株式会社  
経営企画部

Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379  
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号  
URL/ <http://www.hsc-crane.com>